

平成19年度 冬期総合科目 D. 人間・環境一般
「エネルギー問題・地球環境問題を考える」

毎週金曜日5限(16:20-17:50)
駒場11号館 1101教室

最終更新日:2007年10月12日

● 講義内容

- 人類の営みと地球環境の調和、持続可能な社会の構築は21世紀最大の課題であり、これまで発展を遂げてきた現代文明が直面している極めて深刻、かつ人類の存続にかかわる最重要課題である。これらの課題を解決するためには、工学の要素技術や総合技術のみならず、環境・エネルギーの経済学や政策論等の視点も取り入れた総合的・学際的アプローチが必要である。本講義では、エネルギー問題・地球環境問題に関わっている工学部教員の話題提供をもとに、エネルギーと地球環境問題とその解決策を考える。

● 質問の仕方について

- 駒場の大教室では、時間的制約からなかなか質疑応答が十分にできませんので、出席確認用に毎回回収しているアンケートに質問を書く欄を設けてあります。
 - アンケートにメールアドレスを書いている人には、個別にメールで回答しますので、講義内容・進学情報その他、遠慮無く質問や要望を書いて下さい。
- また、下の日程表に各教員の連絡先をリンクしていますので、そちらから直接個別の質問をしても結構です。
- なお、これまでに多かった共通の質問・要望については[FAQ](#)を作成していますので、まずこれも読んで見て下さい。

● 成績評価:出席点5割、レポート点5割

- 出席点:毎回配付・回収する講義アンケートで出席をチェックするので、必ず提出すること(なお、アンケートの内容をもって平常点とします)。
 - なお、第1回目の講義だけは講義選択期間につき、出席をカウントしません。
- レポート:各教員がレポート課題を提示するので、合計2課題を選び、『レポート本体に』①氏名②学生証番号③学年④所属学部・学科(コース)⑤レポート出題教員名を明記して(特に指定のない場合)それぞれA4用紙で3枚以上のレポートとして提出すること。2008年2月4日(月曜日)必着で、次のいずれかの方法で提出すること。
 - [レポート提出専用宛先](#)にメールの添付ファイルで提出する
 - メールでの提出はこのアドレス宛に締切までに『2課題同時に』提出されたものしか受け付けません。締切後や各教員のメールアドレス宛に提出されたものは採点しませんので注意して下さい。
 - 添付ファイルは2課題別々のファイルとし、添付ファイル名は必ず半角英数字を用いて「#-999999Z.doc」として下さい。(ここで、#=1~12の部分に下表における何回目の講義に対するレポートかの区別を、999999Zの部分に各自の学生証番号を書いて下さい。)
 - レポートをメールで受け取る場合は通信上の事故も想定されますので、レポートを受け取ったら1週間以内に受理通知を出します。提出後1週間以内に受理通知の返信がなければ、採点されない→未受験になると考え、必ず送信記録を添付してメールで連絡して下さい。
 - 以下まで郵送するか持参する(この場合は受理通知は送付しません)。

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学工学部4号館1階
システム創成学科 [環境・エネルギーシステムコース](#) 事務室
Tel: 03-5841-7016(内線27016)

● 関連講義

- 夏学期総合科目、火曜5限(E. 物質・生命一般)医学物理入門
- 夏学期総合科目、金曜5限(D. 人間・環境一般) [環境・エネルギー問題を考える](#)
- 冬学期総合科目、火曜5限(B. 国際・地域一般)原子力・エネルギーと国際社会
- 冬学期総合科目、水曜5限(D. 人間・環境一般)地球に生きる
- 冬学期総合科目、木曜5限(F. 数理・情報一般) [持続可能社会実現のための海洋開発](#)

● 講義予定、配付資料、レポート課題

- 各講義終了前は暫定的に昨年度の講義資料とレポート課題を掲載しています(著作権の関係で掲載できないものもあります)。今年度のは各講義終了後に更新しますので、特にレポート課題は古いものに解答しないよう注意して下さい。

回	月日	教員	タイトル	配布物等	レポート課題
1	10/12	高橋	ガイダンス、 エネルギーバランス・持続可能性	.	.
2	10/19	山富	地球史から見た環境・エネルギー問題	.	.
3	10/26	早稲田	政策実務担当者を交えたパネルディスカッション (テーマ:地球温暖化、パネラー:経済産業省、等)	.	.
4	11/2	湯原	超長期エネルギー技術戦略	.	.
5	11/9	福井	地下空間利用	.	.
6	11/16	村上	国境を越える循環型社会	.	.
休	11/23
7	11/30	徳永	地下環境問題	.	.
8	12/7	島田	21世紀のエネルギー安定供給に果たす石炭資源の役割	.	.
9	12/14	多部田	海洋環境問題	.	.
10	12/21	鈴木(英)	海洋にエネルギー・資源を求める	.	.
10	1/11	鈴木(晶)	水素エネルギー最前線	.	.
休	1/18	.	センター試験準備のため休講	.	.
12	1/25	小川	核融合最前線	.	.
13	1/29 (火)	田中	核燃料サイクルと放射性廃棄物処理	.	.